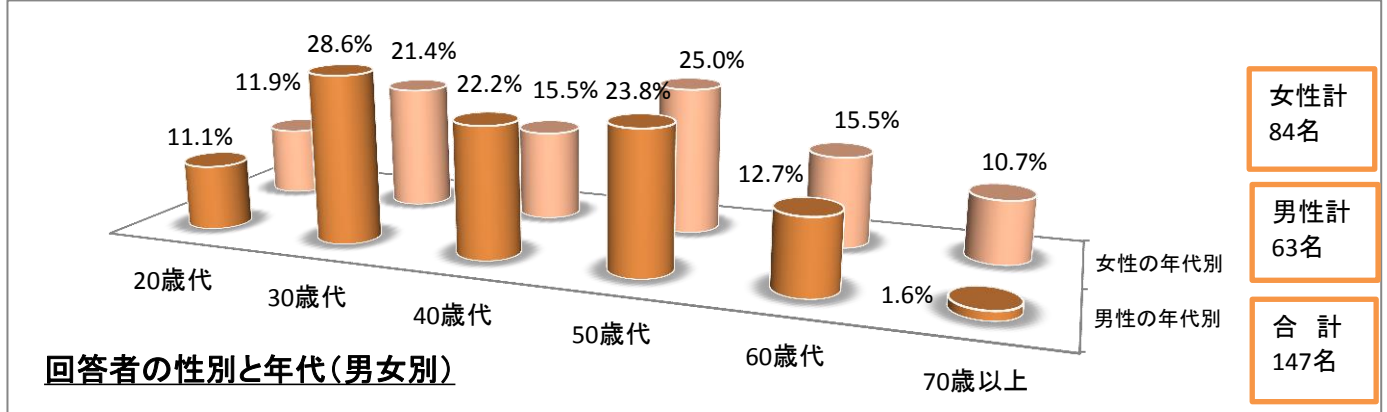


第2次男女共同参画プラン策定のための町民アンケート調査報告(概要版)

○ 第2次男女共同参画プラン策定に関わり、アンケート調査を実施したので、概要版として報告します。

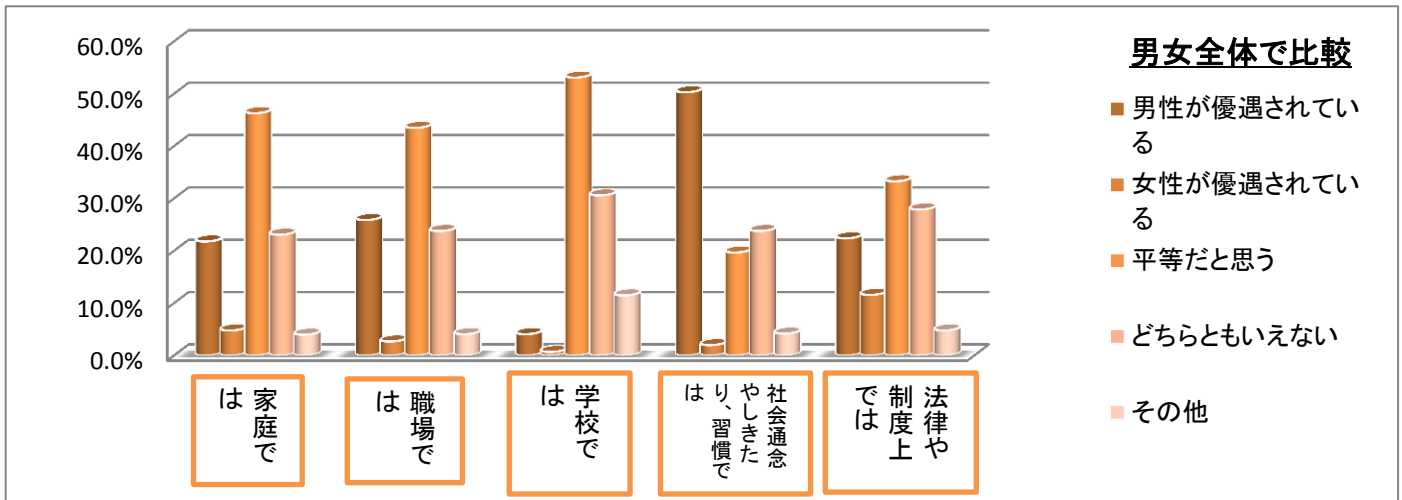
- 1 アンケート調査実施期間 平成26年9月1日～9月17日
- 2 調査地域 八雲町全域 160名(概ね男女各80)
- 4 調査方法 年代、職業を配慮し、策定プロジェクト委員が直接、手渡し・回収
- 5 回収結果 男性63名 女性84名 計147名 回収率 91.9%
- 6 アンケート調査結果

① 性別と年齢について

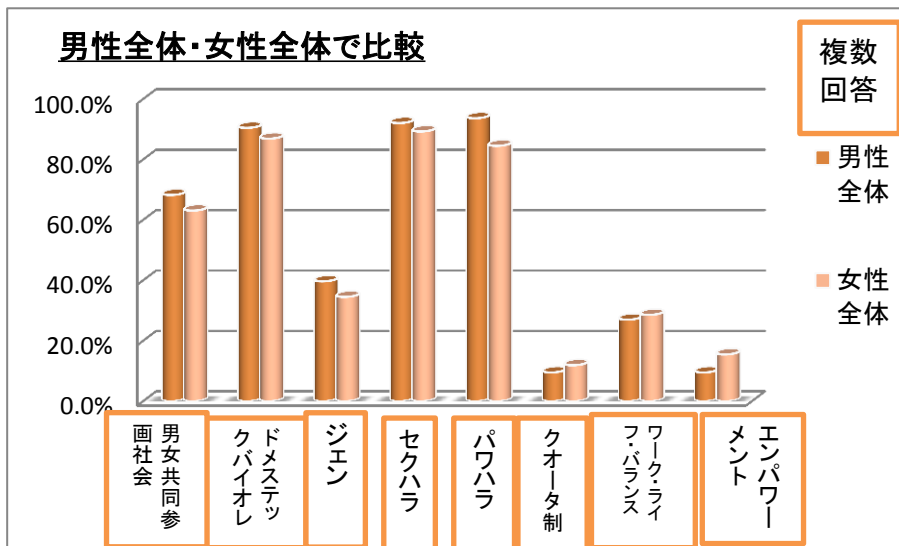


「第2次八雲町男女共同参画プラン」策定のために、アンケート調査を行い、報告書にまとめたが、概要版としてまとめた。調査は、性別や年代を考慮して160名に依頼し、回収率91.9% 147名から回答をいただいた。年代別では、20代と70代の回答者が少なく、特に70代男性は1名と他年代との比較が困難な回収率になっている。

② 男女平等の意識について



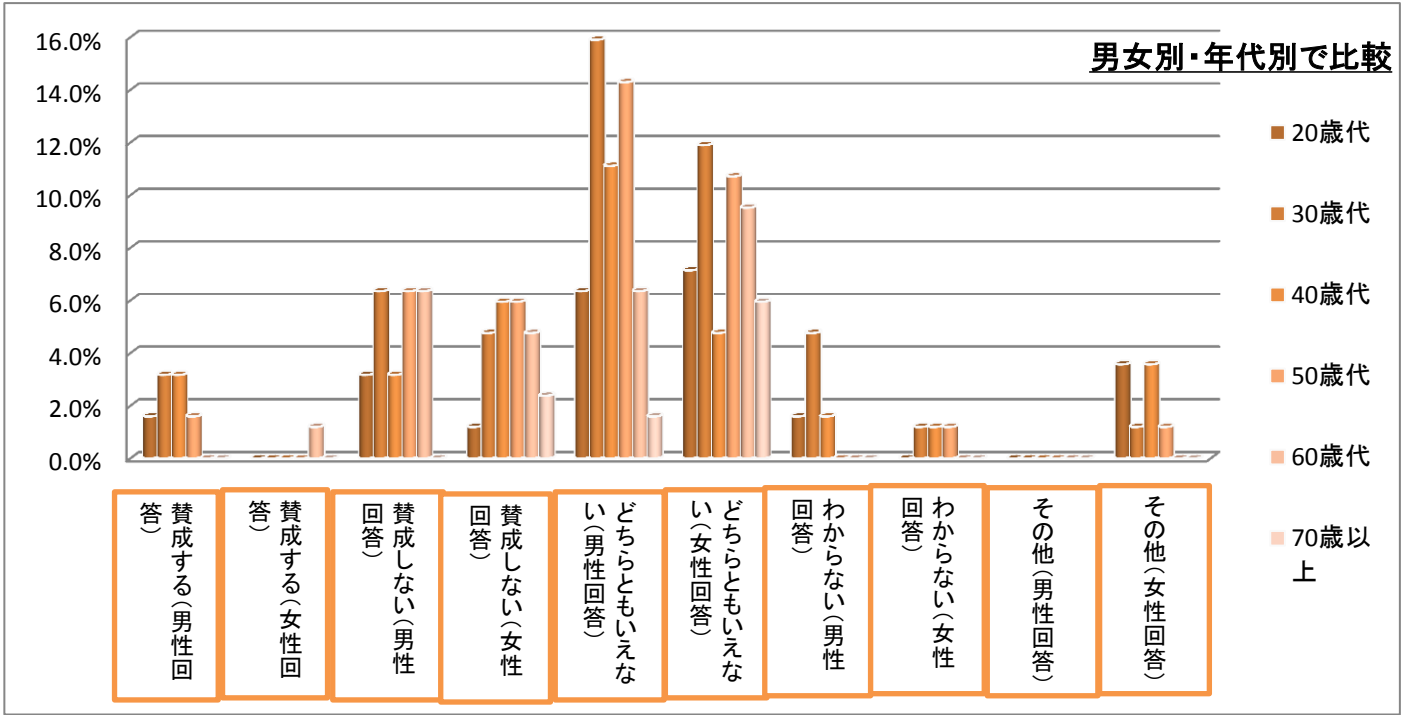
③ 見たり聞いたりした言葉について



② 男女平等意識については、家庭・職場・学校では「平等だと思う」が50%を超えて、社会通念や制度上では「男性が優遇されている」との意識が高くなっている。

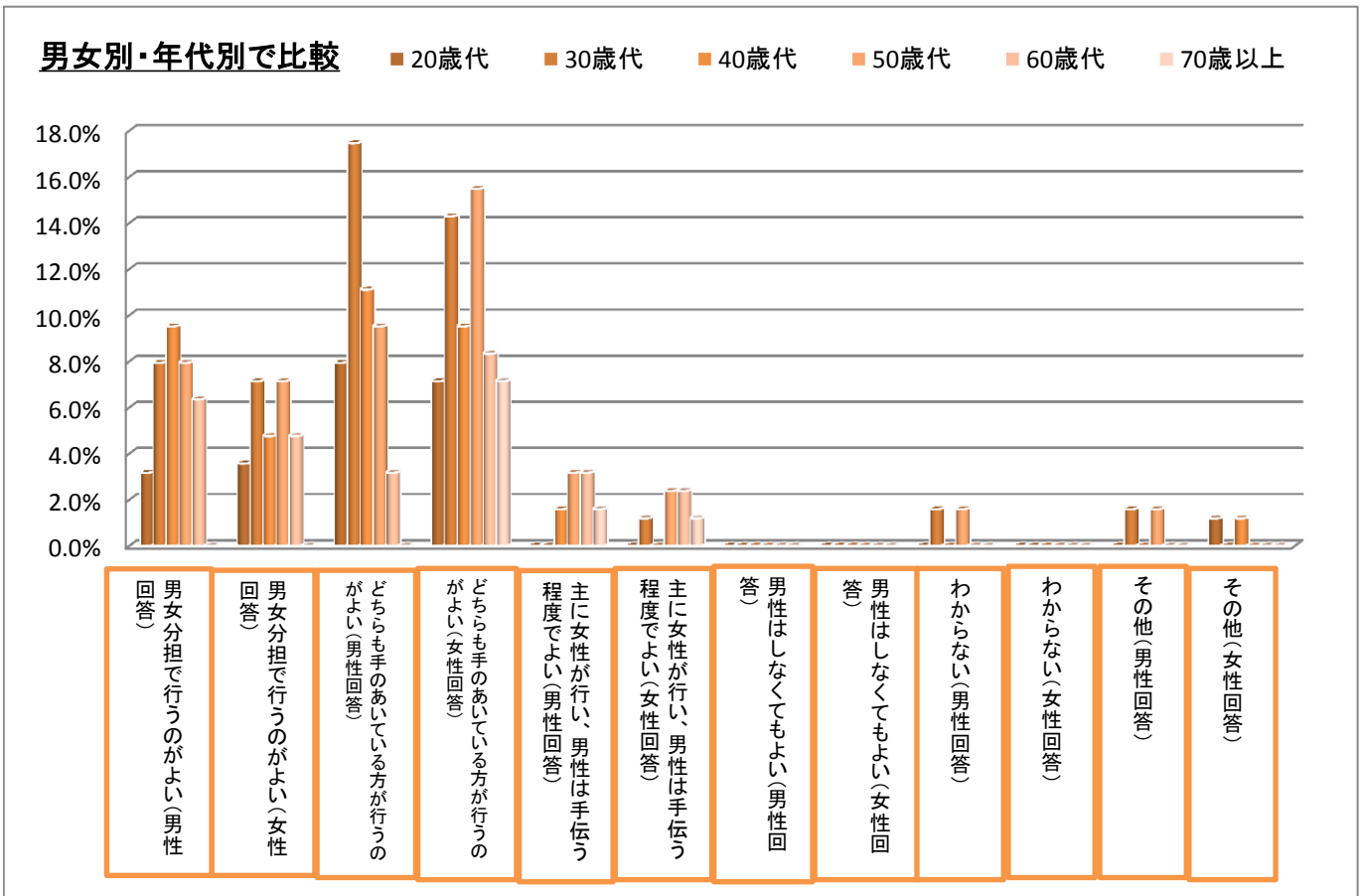
③ 見たり聞いたりした言葉については、特に「ドメスティックバイオレンス」「セクハラ」「パワハラ」が男女とも90%前後の方が認識していた。「男女共同参画」も60%と高くなっている。

④ 男は仕事、女は家庭という考え方について



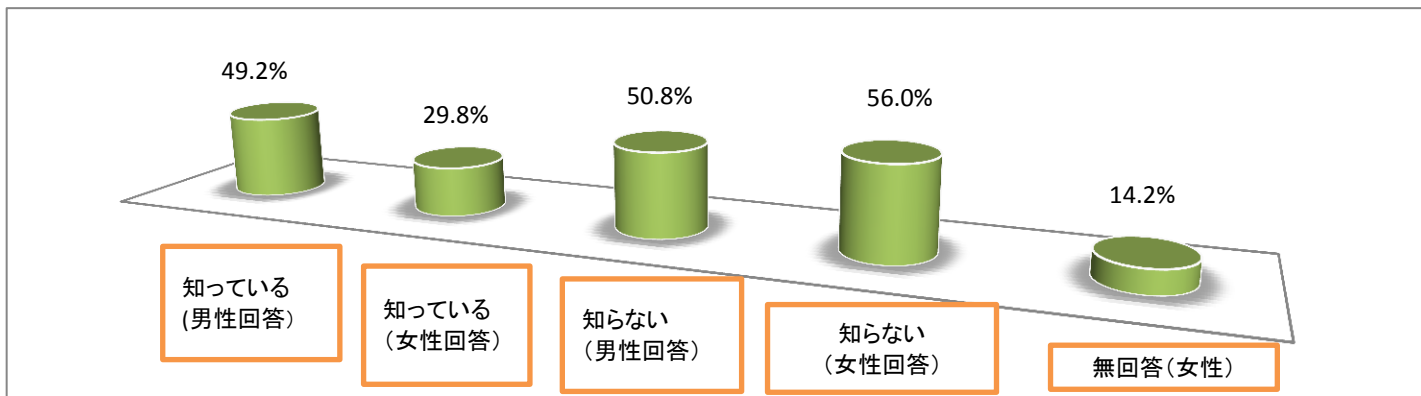
④ 男は仕事、女は家庭という考え方については、「賛成する女性」の回答者は60歳代で1名しかおらず、「賛成する男性」も男性合計9.5%と低く、今の時代では古い考え方と意識している。

⑤ 共働き家庭での家事や育児、介護の役割分担について



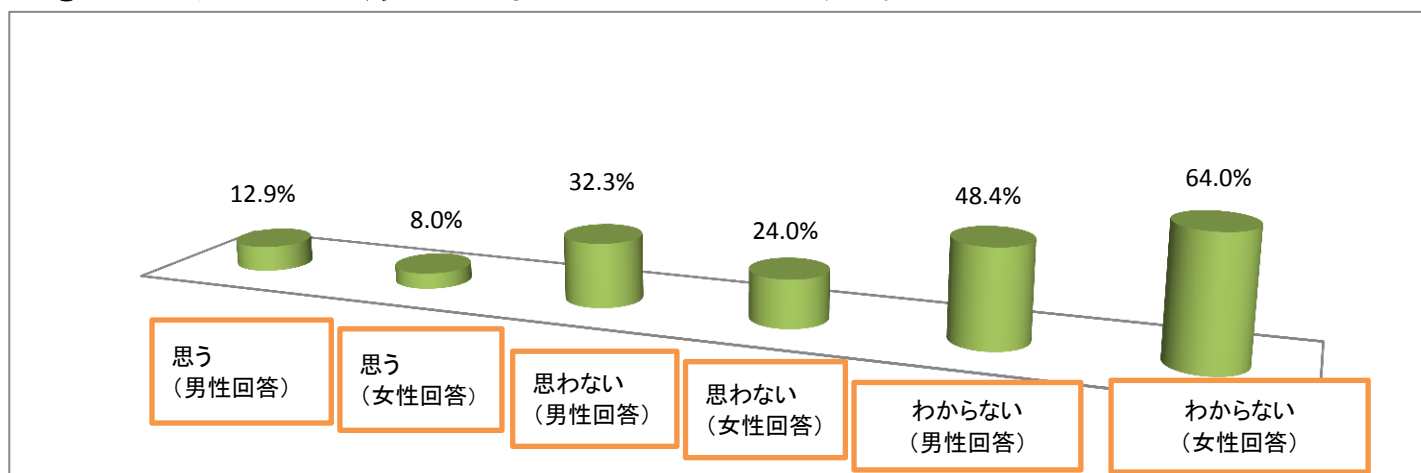
⑤ 共働き家庭での家事や育児、介護の役割分担だが、男女とも「どちらか手のあいている方」が行う意識が高くなっており、「男性はしなくてもよい」は男女とも回答がなく、「男性は手伝いでもよい」も低く、男性も育児や介護を行う意識をもっている結果になった。

⑥ 平成17年に「八雲町男女共同参画プラン」が制定されたことを知っていますか。



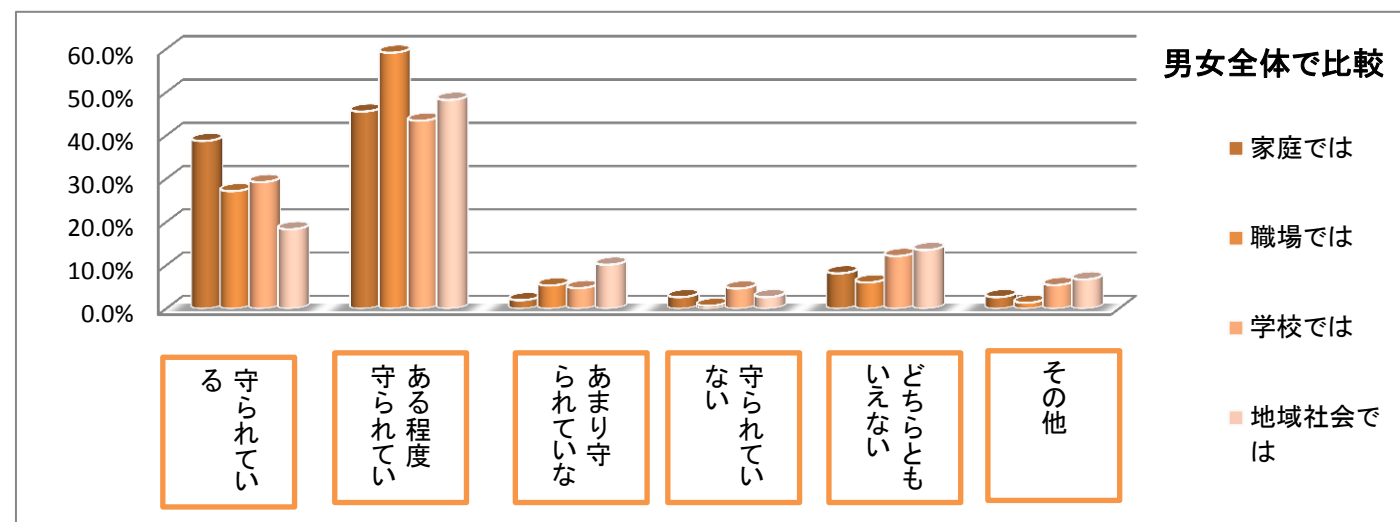
⑥ 平成17年に八雲町の男女共同参画プランが制定されて、「知らない方」男性で50.8%、女性で56.0%と高くなり、制定された後の広報や周知が不足した結果と思われる。このあたりが、第2次プラン策定後の広報や出前説明会等に対応する必要がある。

⑦ このプランによって、男女共同参画が進んだと思いますか。



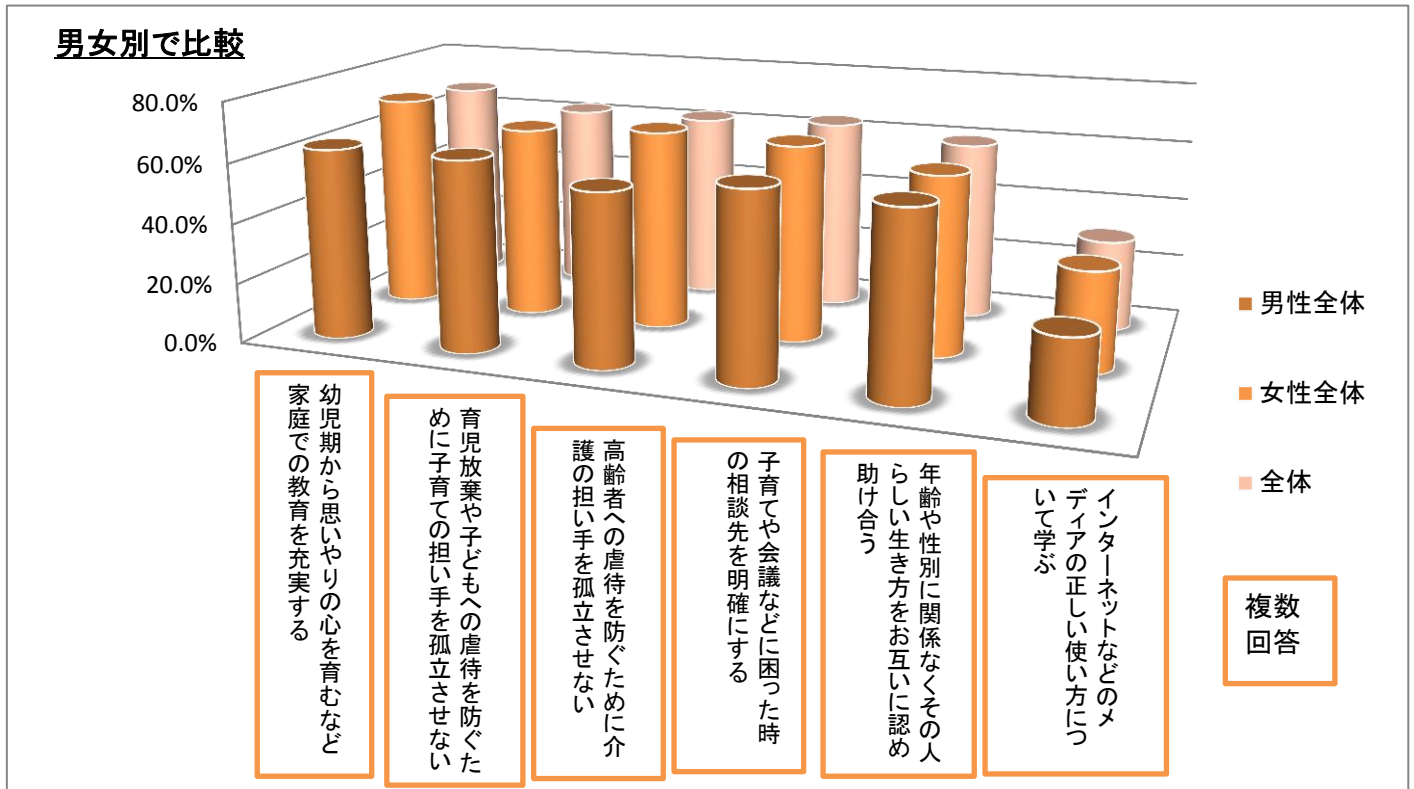
⑦ ⑥で「知っている方」に第1次プラン制定により男女共同参画が進んだかを問い、「思う」男性が12.9%、女性8.0%低い結果になり、「思わない」「わからない」男女がそれぞれ90%近くおり、進捗状況を確認した結果等をこまめに発信する必要がある。

⑧ 家庭や学校、職場や地域社会で人権は守られていますか。



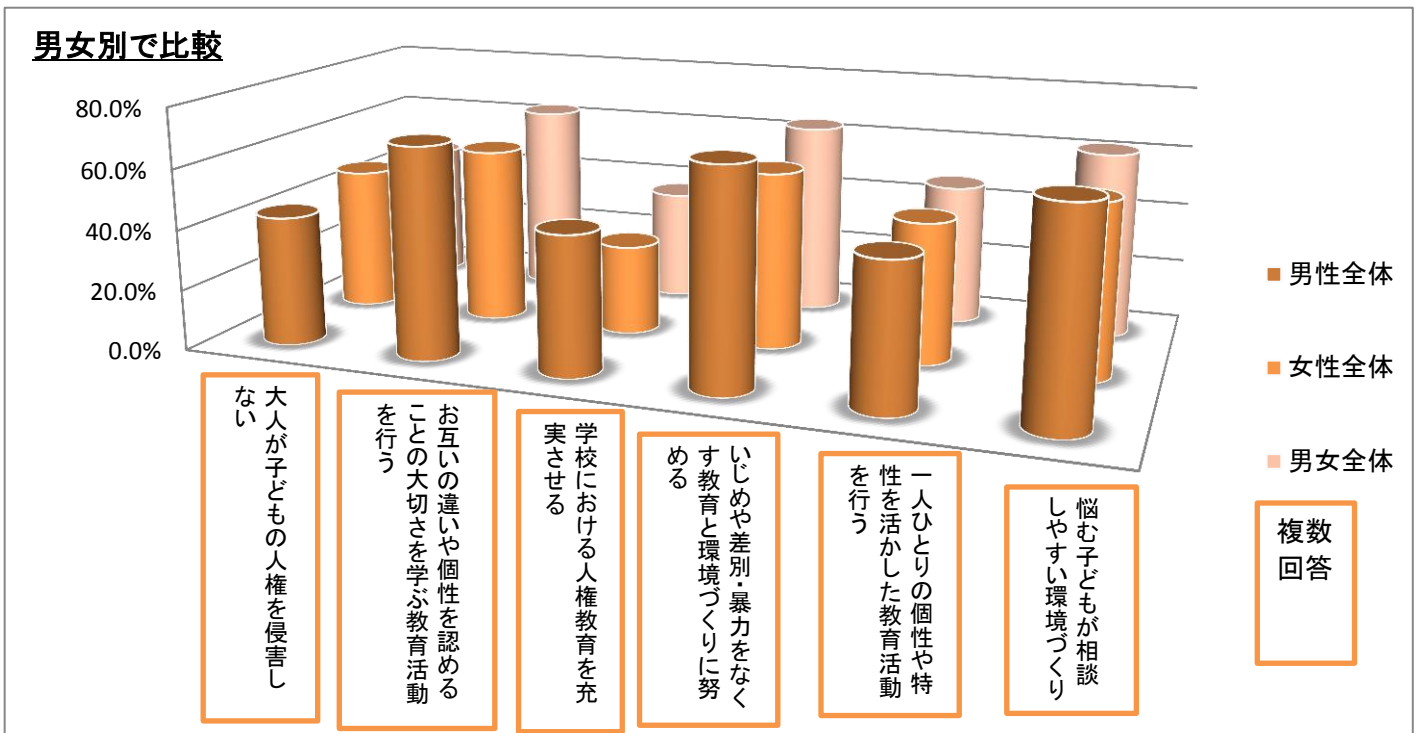
⑧ 家庭や学校、職場や地域社会で人権は守られているかの問いは、上記のとおりそれぞれの環境で「守られている」あるいは「ある程度守られている」を合わせると70%~90%と高く、人権は守られている結果になった。

⑨-1 あらゆる場面で人権が守られる社会を実現するために。 家庭では。



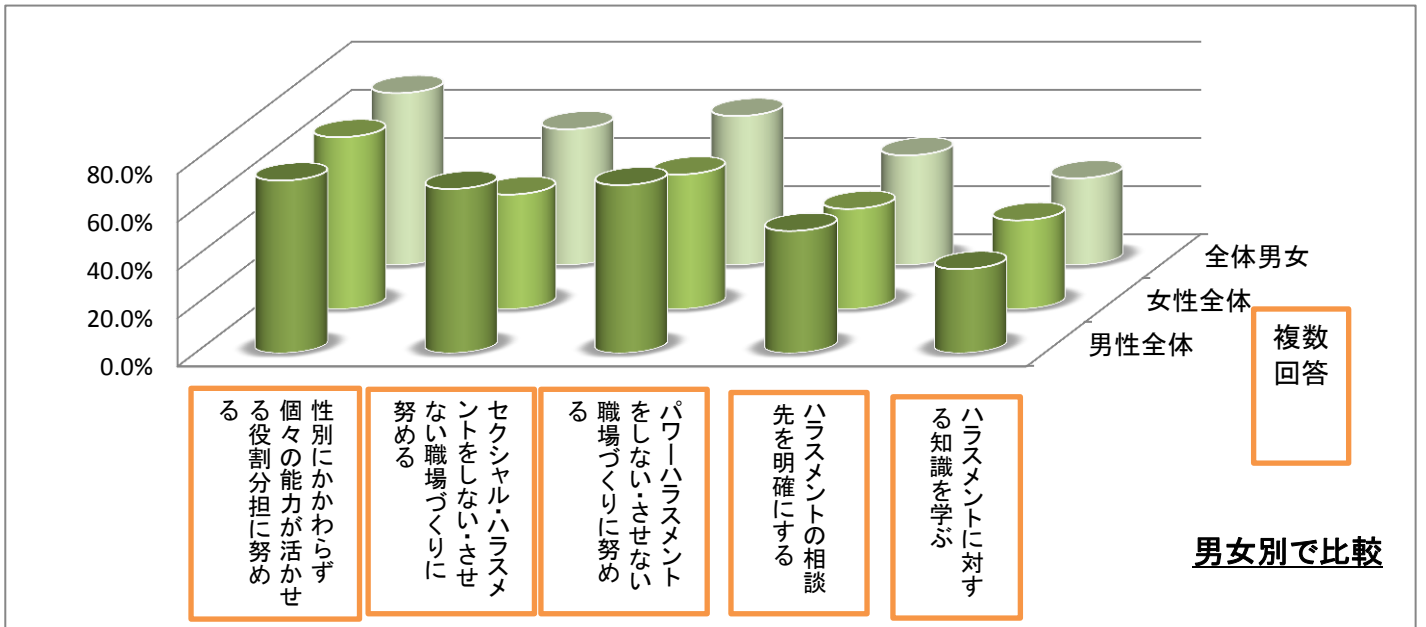
⑨-1 あらゆる場面で人権が守られている社会を実現するためには[家庭では]の問い(複数回答)では、「インターネットなどの…」が25%と低くなっている他は、57.1%から71.4%と高く意識しており、男女での差もほとんどない結果になっている。

⑨-2 あらゆる場面で人権が守られる社会を実現するために。 学校では。



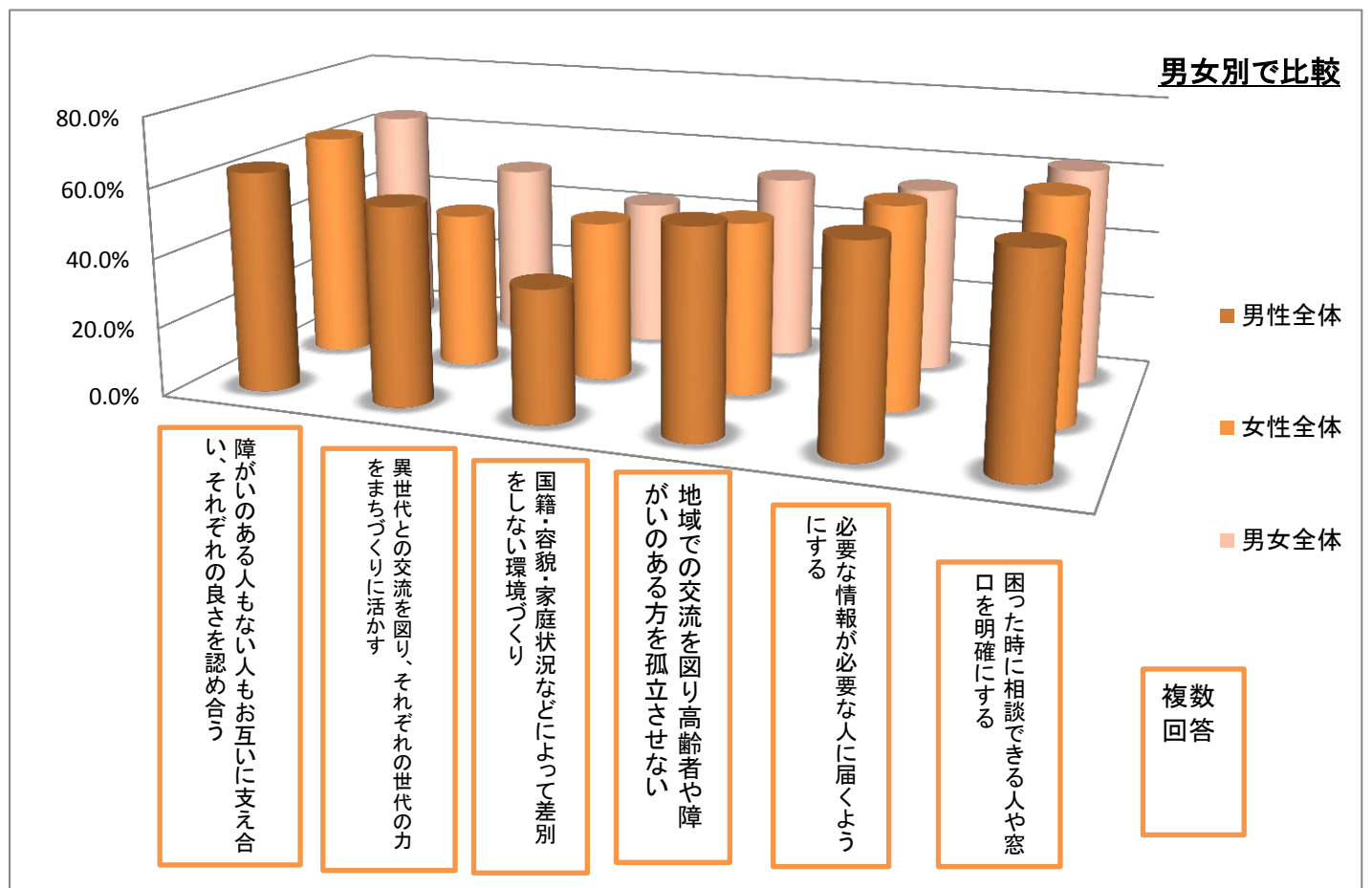
⑨-2 あらゆる場面で人権が守られている社会を実現するためには[学校では]の問い(複数回答)では、「いじめ・差別・暴力…」が男女全体で64%、「お互いの違いや個性…」が男女全体で63.3%と高い結果になり、「学校における人権…」は上記問いでも守られているとの認識が高くなっており、今以上の充実を望む意見は男女全体で36.7%と低くなっている。

⑨-3 あらゆる場面で人権が守られる社会を実現するために。 職場では。



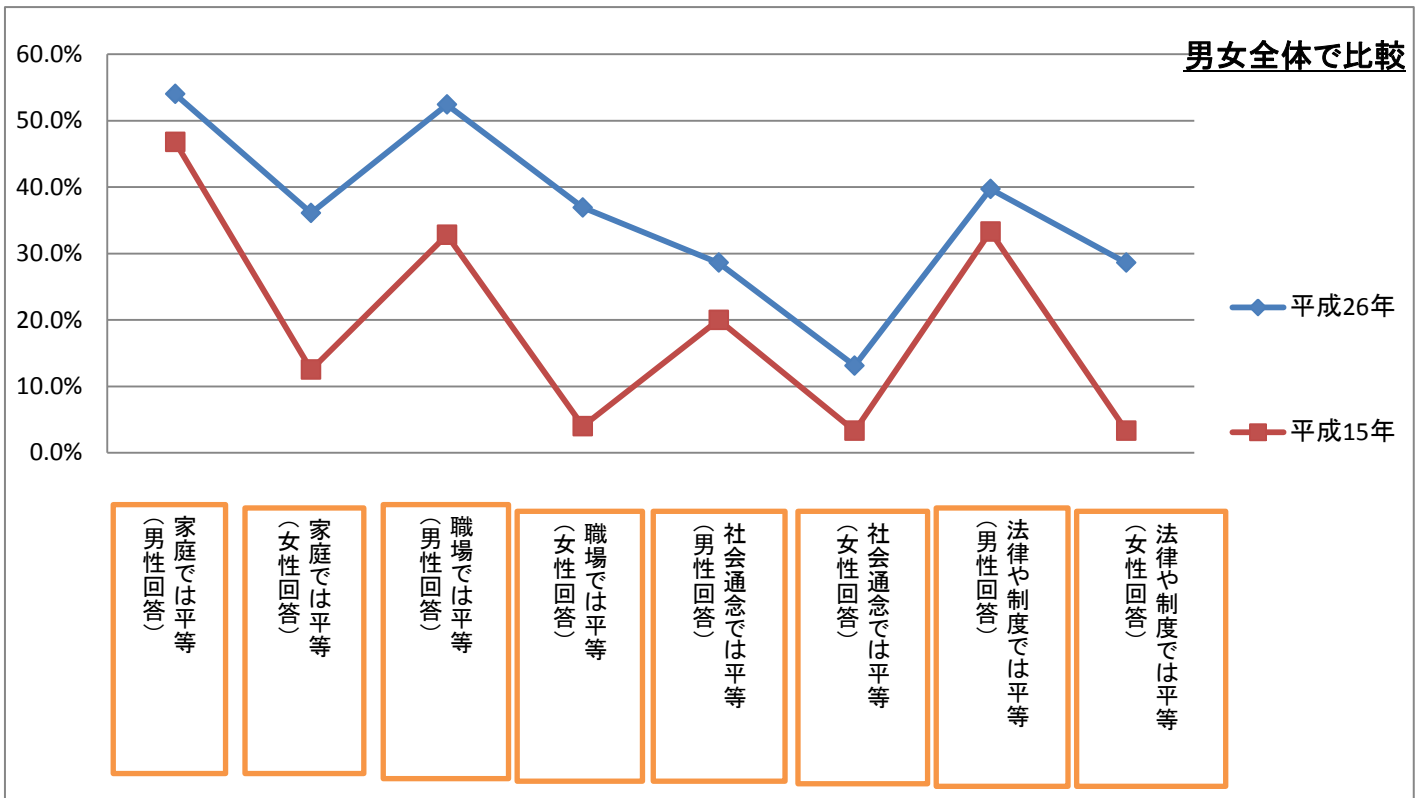
⑨-3 あらゆる場面で人権が守られている社会を実現するためには[職場では]の問い(複数回答)では、「個々性別にかかわらず…」が男女とも71%を超える高さになっている。「セクハラをしない…」では女性より男性が20%以上「パワハラをしない…」では女性より14%近く男性が高くなっており、男性のセクハラ・パワハラへの危機感が伝わる結果になっている。

⑨-4 あらゆる場面で人権が守られる社会を実現するために。 地域社会では。



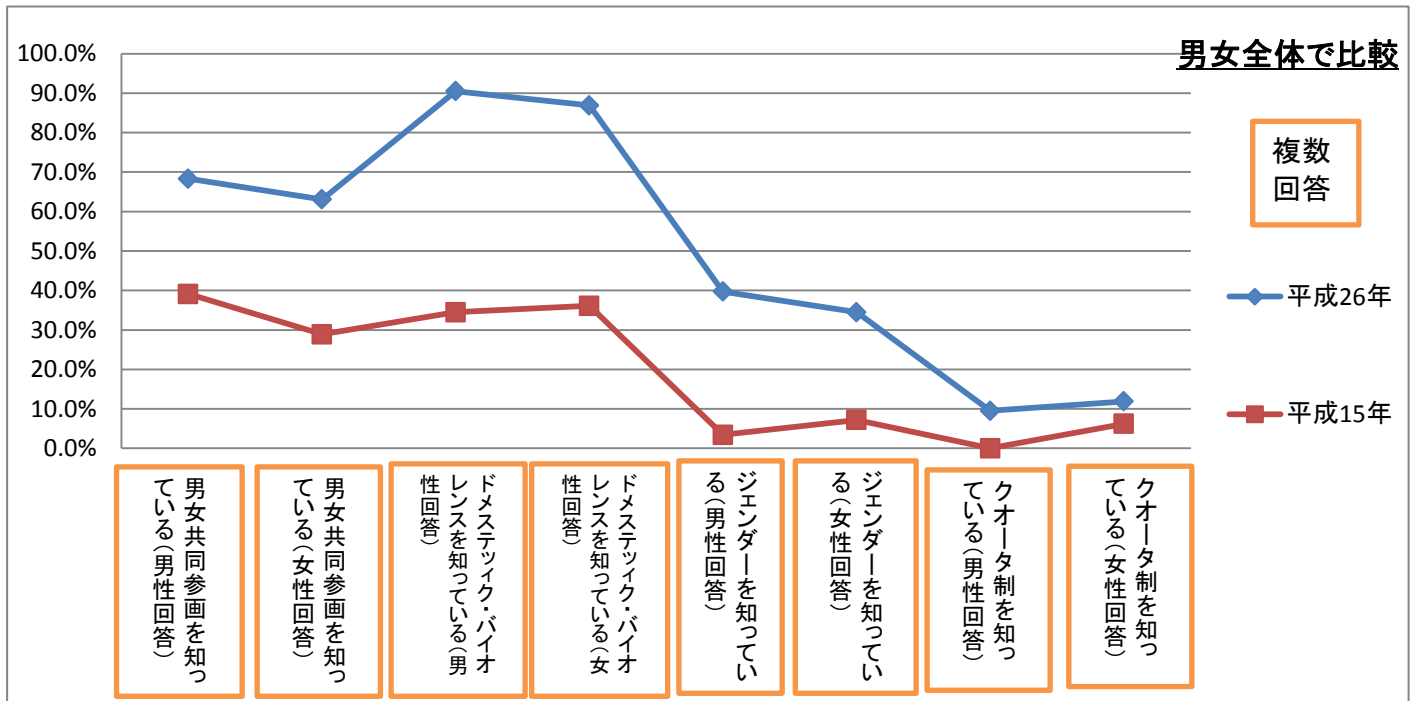
⑨-4 あらゆる場面で人権が守られている社会を実現するためには[地域社会では]の問い(複数回答)では、「障がいのある…」男女全体で64.6%、「困った時に…」が男女全体で62.6%と高い結果になっている。他の問いでも、相談窓口の設置や明確化が指摘されており、職場や学校等含めて相談窓口の明確化や専門の職員の配置が求められている。

⑩-1 平成15年実施の町民意識調査項目との比較。 男女の地位の平等感について



⑩-1 平成15年に実施した町民意識調査と重複し比較できる項目を抽出した。男女の地位の平等感については、「家庭」「職場」「社会通念」「法律や制度」では、男女とも平成15年と比較して平等意識が高くなっており、特に女性では、「家庭」「職場」での平等感が20%~30%も上まわっている。

⑩-2 平成15年実施の町民意識調査項目との比較。 見たり聞いたりした言葉について



⑩-2 見たり聞いたりした言葉では、「男女の地位の平等感」と同じく、「男女共同参画」「DV」「ジェンダー」「クオータ制」とも大きく上まわっている。特に「男女共同参画」は男女とも倍増し、「DV」も男女とも50%以上上まわっており、テレビや新聞等での報道や国等の取り組み姿勢が反映されていると思われる。